

令和8年度 京都理科学研究会 研究提案



自然とのつながりを深め、自然を楽しみ、
豊かな生き方を探究する子どもの育成
～子どもの見方を大切にした単元デザイン～

研究部長 辻 礼史(京都市立開晴小中学校)

研究主題について

自然とのつながりを深め

自然にじっくりと関わる中で、自然とのつながりを見つけ、そのつながりを深めていくことに楽しみを感じる子ども

自然を楽しむ

自分の見方だけでなく他者の見方も大切にして自然を多面的に考えることに楽しみを感じる子ども

豊かな生き方を探究する

自分がしたいことを見つけ、解決を図り、試行錯誤し、次につなげることで自分にとって豊かな生き方とはなにか探究する子ども

子どもの見方を大切にした単元デザイン

自然とのつながり



子どもたちの見方

子どもの見方を大切にした単元デザイン

自然とのつながり



子どもたちの見方



気が付く 心を寄せる 広げる
耳を傾ける 共感する 一緒に楽しむ

子どもたちの見方が多様になり、気付きが増える

子どもの見方を大切にした単元デザイン

自然とのつながり

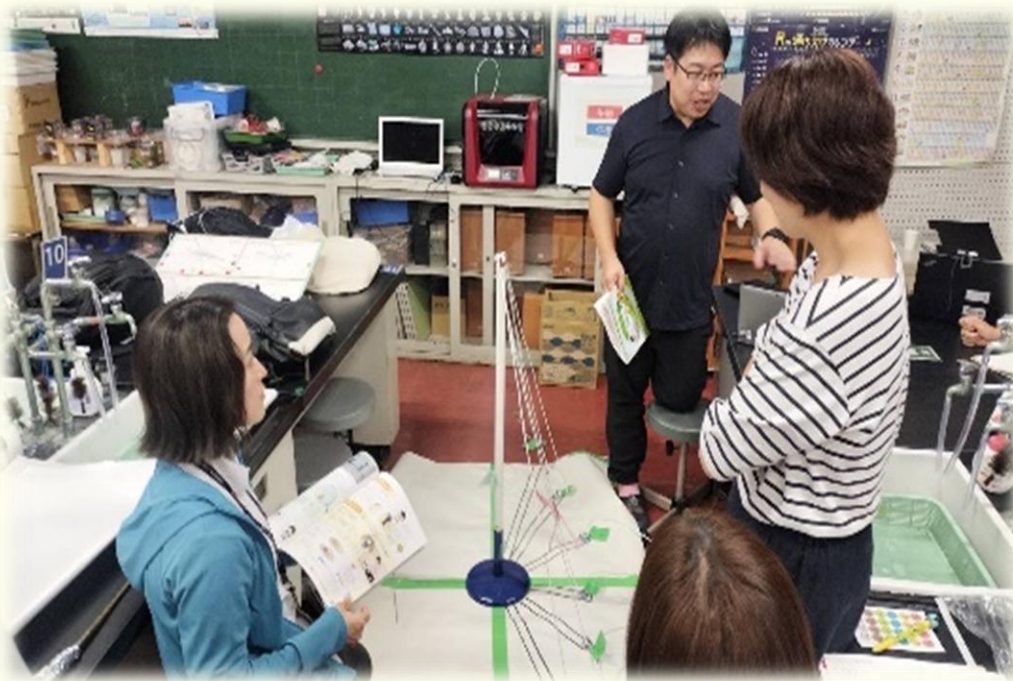
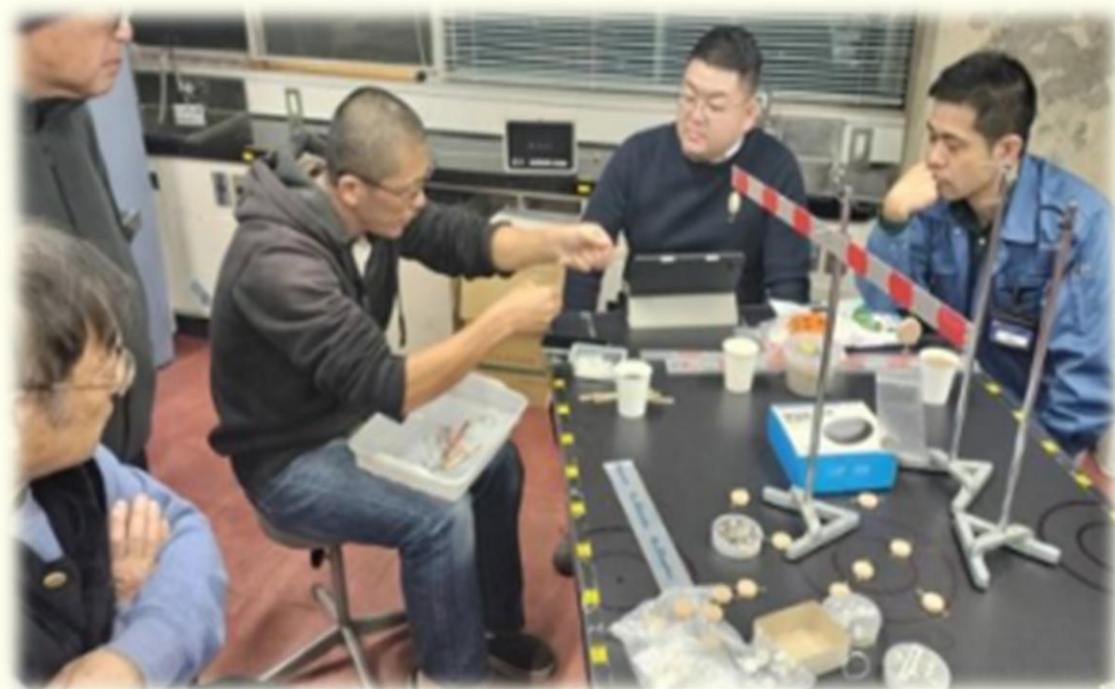


子どもたちの見方

自然とじっくりと関わる

場面・タイミング
時間・内容・領域
教材・浸り方など

どのようなねらいをもって、どこに位置づけるか



令和8年度 京都理科学研究会 研究提案



自然とのつながりを深め、自然を楽しみ、
豊かな生き方を探究する子どもの育成
～子どもの見方を大切にした単元デザイン～